
3. 生物観察データの活用

■ 第4回環境部会からの流れ



生物観察データの活用に関して、前回の環境部会からの流れと検討結果を以下に示す。

第4回環境部会 (H26.12.15)	一般の方々から公募した「吉野川河口域の生物観察データ」について、環境モニタリング調査の基礎資料としての活用を検討した。
------------------------	---



【第4回環境部会の結果】

一般の方々から提供頂いた生物観察データから、鳥類のビロードキンクロ、コクガン、ホウロクシギの3種の希少種の関しては、環境モニタリング調査計画に活用していく方針とし、そのデータ提供に関しては一般の方々（日本野鳥の会徳島県支部）と調整を図り、次回の環境部会において、その調整結果と活用方法の具体化について議論することとなった。



【調整結果】

第4回環境部会の後、日本野鳥の会 徳島県支部と検討会事務局で協議と調整を行ってきたが、鳥類の観察データの提供について、了承を頂くことができなかった。

⇒引き続き、一般の方々から生物観察データの提供の場について検討していく。